

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○木村恵 武田涼子 山口明彦 佐々木祐二 澤田篤史 長谷川純子 鎌田樹寛 近藤里美 朝日まどか
西出真也 桜庭聡 坂上哲可 山田桃子

【概 要】

コミュニケーションについて学び、基本的なコミュニケーション力を培うことを目的とする。授業を通して自己を振り返り、医療人・社会人としての意識を高める。

【学習目標】

【一般目標】

1. 基本的なコミュニケーション力（適切な挨拶，言葉遣いなど）を身につけ、活用することができる。
2. 医療人・社会人として必要な基本的態度を学び、臨床実習に適用することができる。

【行動目標】

1. 観察から読み取ることができる非言語情報を列挙することができる。
2. 傾聴について理解し、話の聴き方を工夫することができる。
3. 『開かれた質問』『閉ざされた質問』について理解し、質問の仕方を工夫することができる。
4. 電話対応の仕方について学び、実習前連絡において応用することができる。
5. 『報告・連絡・相談』について、大学生活および実習の場で活用することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 総論	オリエンテーション	木村恵
2) 3	コミュニケーションとはなにか	コミュニケーションの必要性について学ぶ。	木村恵
4) 5	自己分析	自己概念シート、自己肯定感診断テスト等を用いて、自分の性格や傾向について知る。	山口明彦 近藤里美 西出真也
6) 7	『みる』	・観察から読み取れる非言語情報を学ぶ。 ・動作や表情によって、相手に与える印象について学ぶ。	鎌田樹寛 長谷川純子 山田桃子
8) 9	『きく』	・傾聴とはなにか理解する。 ・聴き手として大切なことを学ぶ。	佐々木祐二 朝日まどか 西出真也 木村恵
10) 11	『たずねる』	・質問の仕方、『開かれた質問』『閉ざされた質問』について学ぶ。	坂上哲可 澤田篤史 桜庭聡
12) 13	臨床で役立つコミュニケーション・スキル（課題提出）	コミュニケーションスキルとコミュニケーションを円滑にするために必要なことについてまとめ、レポートとして提出する	佐々木祐二 朝日まどか 桜庭聡
14) 15	実習関連（課題提出）	電話対応の基本と『報告・連絡・相談』の仕方と社会人・医療人としての心構えについてまとめ、レポートとして提出する	木村恵

【評価方法】

毎回の課題、授業への主体的参加態度50%、レポート50%

【備 考】

教科書 : 山口美和 著 「PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド」第2版 医学書院 2016年

その他 : 授業時、名札着用のこと。

【学習の準備】

この授業専用のファイルを用意すること（課題を綴じるために使用する）。

次回の授業範囲の教科書を読んでおくこと（80分）。

授業後は、プリント、教科書等を活用して学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。